

■持続可能な社会を担う資質と能力をもつ生徒の育成(高穂中学校)

1 【活動の趣旨】

本校では、課題解決のために計画し、失敗を恐れずやり抜く生徒育成のため、学習の場を地域へ広げ、日頃の学校生活では学べない経験や知識が得られるように地域協働合校事業を推進している。

2 【特徴的な活動内容】

『たかほ学』

○1年生「ふるさと学習」

草津自慢を切り口に、草津市について関心のある6分野（歴史文化、自然環境、産業、農業、開発、防災）に分かれてセミナーやフィールドワークで課題を発見。解決方法を考え、自分たちにできる行動を地域と協力して行い、検証する。

○2年生「生きかた学習」

キャリアパスポートを活用して自分を見つめなおすとともに、自分の適性に合った職業について調べ、2学期に実施する職場体験学習へとつなげた。事前学習として様々な職業の方からの職業講話や高校の先生方を招いて、社会人としてのマナー講座も実施した。

○3年生「社会参加型学習」

修学旅行先の南信州と滋賀県との違いを考え現地での学習につなげた。この経験を生かしてSDGsの視点で滋賀の活動を調査し、2学期に保護者アンケートを実施。アンケート結果から課題解決方法の協議を経て、実現可能策を検討し、1月20日に「たかほSDGsサミット」を開催。



【1年生 ふるさと学習】



【2年生 生きかた学習】



【3年生 社会参加型学習】

3 【実施に当たっての工夫】

- ・3年間の系統性を一覧にして共有した。
- ・学校外の異世代と交流する場を意識して設けた。
- ・市政への提言をすることで主権者意識を醸成した。

4 【事業の成果】

- ・総合的な学習の時間「たかほ学」での学びが将来社会に出たときに役に立つと肯定的にとらえている生徒は全体の約90%。
- ・地域人材の活用やフィールドワーク等、社会に開かれた探求型学習を実施できた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

2年生の生きかた学習において、職場体験の事前講座や体験学習の企画・運営に終始してしまい、3学期に実施する平和学習や進路学習との関連性が希薄になってしまった。

※4 事業実施の目標 学校教育目標-持続可能な社会を築く実践力をもつ生徒の育成へ

総合的な学習の時間「たかほ学」体系図

1年生 ふるさと学習 → 2年生 生きかた学習 → 3年生 社会参加型学習

Goal: 1. 地域社会の発展に貢献する力を育成する。 2. 持続可能な社会の実現に貢献する力を育成する。 3. 社会問題の解決に貢献する力を育成する。

1年生 ふるさと学習: 1. 草津市の歴史文化、自然環境、産業、農業、開発、防災について学ぶ。 2. 草津市の魅力を発信する。 3. 草津市の課題を調査する。

2年生 生きかた学習: 1. キャリアパスポートを活用して自分を見つめなおす。 2. 職業講話やマナー講座を実施する。 3. 職場体験学習を実施する。

3年生 社会参加型学習: 1. SDGsの視点で滋賀の活動を調査する。 2. 保護者アンケートを実施する。 3. 「たかほSDGsサミット」を開催する。

情報: 1. 草津市の歴史文化、自然環境、産業、農業、開発、防災について学ぶ。 2. 草津市の魅力を発信する。 3. 草津市の課題を調査する。

人財: 1. キャリアパスポートを活用して自分を見つめなおす。 2. 職業講話やマナー講座を実施する。 3. 職場体験学習を実施する。